

ふりがな 氏 名	ほりべ ようこ 堀部 要子	職 名	准教授
取得学位	博士(人間発達学)	学会での受賞歴	
主な担当科目	特別支援教育論、障害児保育、社会的養護Ⅰ・Ⅱ、子ども家庭福祉、介護等体験、卒業論文演習、幼児保育総合演習Ⅱ、保育・教職実践演習(幼稚園)、教職実践演習(栄養教諭)		
所属学会	日本LD学会、日本特殊教育学会、日本授業UD学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
公立小学校における特別支援教育に係る実践的研究	平成30年度 ～現在	公立小学校に在籍する多種多様な教育的ニーズのある児童への指導・支援方法を追究した。さらに、「個」への指導・支援方法とともに、クラスワイド及びスクールワイドの「集団」への指導・支援方法を追究した。具体的には、読み書き指導や学習支援、授業のユニバーサルデザイン化、SST (Social Skills Training)、支援方法の改善等を内容とする実践的研究に取り組んだ。これらの成果を学会等で発表し論文にまとめるとともに、学生への指導に活かしている。
小中学校の校内研修の講師	平成30年度 ～現在	愛知県及び他県市町村の小中学校を訪問し、特別支援教育に係る内容の校内研修の講師を務めた。また、研究協力校における通常の学級及び特別支援学級を視察し、その後で支援の内容や方法に関する研修を実施した。
障害のある幼児児童生徒または障害の疑われる幼児児童生徒を対象とする巡回相談員	平成30年度 ～現在	巡回相談員として幼稚園、小中学校を訪問し、園生活、学校生活の様子を観察した上で、発達障害等の障害のある幼児児童生徒または障害の疑われる幼児児童生徒への指導・支援方法の検討を行った。
教育センター、教育委員会、研究会等主催の、教員を対象とする講座・研修会等の講師	平成30年度 ～現在	教育関係団体主催の教員対象の特別支援教育等に係る内容の講座・研修会等の講師を務めた(春日井市教育委員会、茨城県立内原特別支援学校、一宮市教育センター、春日井市国語研究会、瀬戸市国語研究会、尾張旭市教育研究室、美濃加茂市教育センター等)。
各種団体主催の、教員以外を対象とする講座・研修会等の講師	平成30年度 ～現在	各種団体主催の、教員以外を対象とする講座・研修会等の講師を務めた(子育て講演会、特別支援教育支援員養成講座、発達障害支援研修会、支援員研修会等)。
障害のある幼児または障害の疑われる幼児を対象とする相談員及び支援に係る内容の講演講師	平成30年度 ～現在	障害のある幼児または障害の疑われる幼児の保護者との教育相談や、幼稚園、保育所への巡回相談、保護者や園長対象の講演等、障害のある幼児の円滑な就学に向けての取り組みを進めた(春日井市、瀬戸市、私立幼稚園協議会)。

事 項	実 施 年月(日)	概 要
担当授業「特別支援教育論」における指導方法の検討(名古屋女子大学、名古屋経済大学、名城大学)	平成30年度 ～現在	特別支援教育に係る内容の理解を促進し、かつ参加度を高めるために、①動画を含む視聴覚資料の提示、②模擬授業や事例検討等の指導・支援方法に関する協議の導入、③障害疑似体験やSST等の体験型・参加型プログラムの導入、を検討し実施した。
障害児者への接し方や支援方法についての助言(名古屋女子大学、名古屋経済大学、名城大学)	平成30年度 ～現在	実習先で出会った知的障害児者や発達障害児者等への接し方がわからなかったという学生を対象に、その状況と対象児者の実態を詳しく聞き、考えられる支援方法を示した。また同様の体験をした他の学生にも還元した。
特別支援教育に関する研究を進める学生への支援(名古屋女子大学、愛知県立大学)	平成31年度 ～現在	「インクルーシブ教育システム」「障害理解教育」等の特別支援教育に係る研究に取り組んでいる学生に対し、特別支援教育の制度、障害により生じる困難さ、指導・支援方法等について、資料や信頼できる情報を紹介しながら個別に解説した。
保育士・教員を目指す学生への保育職・教職専門指導(名古屋女子大学、愛知県立大学)	平成31年度 ～現在	保育士・教員を目指す学生を対象に、保育職・教職に関する指導及び採用試験対策支援(幼保小中高等学校)を行った。障害のある幼児児童生徒への支援方法について具体的な方策を示すとともに、PP教材を作成して小論文の執筆方法を段階的に指導した。
「特別支援教育相談実習」の外部講師(島根大学)	令和2年 12月	教育学部の学校教育実習を修了または修了予定の学生を対象に、「通常の学級に在籍する発達障害等の障害のある子どもへのチーム支援」をテーマにオンライン講義を行った。
「教職実践演習(小学校)」及び「学内実習」の外部講師(愛知県立大学)	令和3年 1月	教育福祉学部の小学校教員を目指す学生を対象に、「通常の学級に在籍する特別な教育的ニーズのある児童への支援」をテーマにオンライン講義を行った。また学内実習として、授業実習・生活指導実習に関する指導助言を行った。
「特別支援教育特講」の外部講師(愛知県立大学大学院)	令和3年度 ～現在	博士前期課程人間発達学研究科の学生を対象に、「特別支援教育の理論と実践的検討」をテーマに集中講義を行った。特別支援教育の今日的課題についての討議や、事例検討・ワークショップ等を通して、より実践的な内容の授業を行った。
保育者・教育者を目指す学生のための基礎学力向上計画の実施	令和4年度 ～現在	名古屋女子大学の教育特色化推進計画において、児童教育学科の学生を対象とした基礎学力向上のためのプログラムを実施した。

◆ 研究業績

区 分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称 (会場名)	備 考
著書	特別支援教育研究 特集:通常の学級における合理的配慮と個別の教育支援計画	共	平成30年11月	東洋館出版社. 11月号	編者:全日本特別支援教育研究連盟 著者:堀部要子、他16名 全64頁中、実践① 校内支援システムの構築と合理的配慮の提供 (pp. 12-15) を執筆
	シリーズ教育・保育の論点 新時代の学び	共	令和3年7月	三恵社	名古屋女子大学文学部編 著者:堀部要子、他17名 全136ページ中「インクルーシブ教育システムの構築と合理的配慮の提供」(pp. 17-24) を執筆
	教師とSCのためのカウンセリング・テクニック3 特別支援と愛着の問題に生かすカウンセリング	共	令和4年1月	ぎょうせい	編集代表:諸富祥彦 共著者:諸富祥彦、曾山和彦、米澤好史、堀部要子、他22名 全165頁中、第2章 第2節「確実におさえたい!発達障害への基本的な支援の在り方」(pp. 40-43) を執筆
	保育者・教育者をめざす学生のための自習ガイドブック 第3版	共	令和4年4月	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者:堀部要子、他25名 全185頁中 第3部 第2章「算数」(pp. 177-180)を分担
	シリーズ教育・保育の論点 学びの深化	共	令和4年7月	三恵社	名古屋女子大学文学部編 著者:堀部要子、他13名 全107頁中「特別支援教育に関する校内委員会の現状と課題」(pp. 11-18) を執筆
	実践みんなの特別支援教育 特集:共同注意の知見を生かす自閉症児の心を育てるかわり方	共	令和5年2月	G a k k e n. 2023年3月号	編集人:滝口勝広 著者:堀部要子、他14名 全59頁中 「ASD児への支援で大切にしたいこと」(pp. 28-30) を執筆
	保育者・教育者をめざす学生のための自習ガイドブック 第4版	共	令和5年4月	三恵社	名古屋女子大学文学部児童教育学科編 著者:堀部要子、他25名 全185頁中 第1部『本ガイドブックについて』(pp. 1-7)を執筆及び改編

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称 (会場名)	備 考
論 文	小学校におけるクラスワイドソ ーシャルスキルトレーニングの 導入方法の検討ー全校体制での 継続的な短時間SST実践の効果の 分析を通してー	単	平成30年 3月	愛知県立大学大学院人 間発達学研究科紀要 人間発達学研究 第9 号	pp. 91-102
	「書き」の効果に着目した多層の 読み書き指導モデルの検討	共	平成31年 2月	日本LD学会誌 LD研究 第28巻 第1号	堀部要子、樋口和彦 pp. 96-110
	小学校における特別な支援を必 要とする児童への指導・支援に関 する研究動向	単	平成31年 3月	愛知県立大学大学院人 間発達学研究科紀要 人間発達学研究 第10 号	pp. 57-65
	学校全体で取り組む継続的な短 時間 SST の有用性	共	令和元年 11月	日本授業UD学会誌 授 業UD研究 第8号	堀部要子、樋口和彦、曾山和彦 pp. 73-87
	公立小学校における特別な教育 的ニーズのある児童を含む全て の児童へのスクールワイドの多 層支援モデルの開発	単	令和2年 3月	愛知県立大学大学院 人間発達学研究科 人 間発達学専攻 博士論 文	全293頁
	小学校におけるスクールワイド の取り出し学習支援ー学習支援 の効果と校内支援システムの検 討ー	単	令和3年 8月	日本LD学会誌 LD研究 第30巻 第3号	pp. 26-43
	小学校におけるスクールワイド の短時間 SST の効果	単	令和4年 12月	名古屋女子大学文学部 編 児童教育論集 第 6号	pp. 20-29
授業 UD の校内授業研究ーE小学 校の実践から学ぶ校内授業研究 の進め方ー	単	令和4年 12月	日本授業UD学会誌 授 業UD研究 第14号	pp. 66-75	
学会発表	SST への ICT の適用の可能性を探 る	共	平成30年 9月	日本特殊教育学会第56 回大会 (大阪教育大学)	堀部要子、他5名 自主シンポジウム 5-13
	小学校におけるスクールワイド SST 実践とその成果	共	平成30年 9月	日本特殊教育学会第56 回大会 (大阪教育大学)	堀部要子、他2名 ポスター発表 P2-63
	小学校における読み書き困難へ の学習支援方法の開発とその効 果ー「ひらがな、カタカナ、漢字」 文字の習得に向けてー	共	平成30年 11月	日本LD学会第27回大 会 (上越教育大学/新 潟大学)	堀部要子、他3名 自主シンポジウム J3

区 分	著書・論文・発表テーマ・ 作品・演目などの名称	単 ・ 共	発 行・ 発 表 年 月 (日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏 会の名称 (会場名)	備 考
学会発表	「書き」の指導を導入した多層指導モデルの検討	共	平成 30 年 11 月	日本 LD 学会第 27 回大会 (上越教育大学/新潟大学)	堀部要子、他 1 名 ポスター発表 P1-16
	自閉症児の学習とは? -ASD 児の主體的・対話的で深い学び-	共	令和元年 9 月	日本特殊教育学会第 57 回大会 (広島大学)	堀部要子、他 3 名 自主シンポジウム 8-6
	自閉症スペクトラム障害を有する子どもの学習とは? (2) -ASD 児の学習へのアプローチ-	共	令和 4 年 9 月	日本特殊教育学会第 60 回大会 (理事会主催)	堀部要子、他 3 名 自主シンポジウム I-47
	読み書き困難を示す子どもへの「ひらがな・カタカナ」学習支援方法の検討	共	令和 4 年 9 月	日本 LD 学会第 31 回大会 (京都教育大学)	堀部要子、他 2 名 自主シンポジウム J 02
	適応に困難さを示す児童生徒への支援の在り方 -小学校通級・中学校通級・相談室の事例を通して-	共	令和 4 年 9 月	日本 LD 学会第 31 回大会 (京都教育大学)	堀部要子、他 6 名 自主シンポジウム J 29
そ の 他 (研究助成)	校長がマネジメントする校内支援システムの構築と学校経営モデルの作成	単	平成 29 年 度	平成 29 年度 日本学術振興会 科学研究費助成事業 科学研究費補助金 (奨励研究) 交付	奨励研究 (研究課題/17H00266)
	特別な教育的ニーズのある児童への支援を促進するリーダーの役割と行動に関する研究	単	令和 4 年 4 月	令和 4 年度 日本学術振興会 科学研究費助成事業 学術研究助成基金助成金 (若手研究) 交付 (令和 4 年度~令和 6 年度)	若手研究 (研究課題/22K13741)